



編集／東濃厚生病院広報委員会

理念

歩みいる者に
やすらぎを
去り行く人に
幸せを

私たちは地域の皆様に愛され、親しまれ、そして信頼される病院を目指します。

行動目標

1. 私たちは日々研鑽に励み、患者さんの立場にたった質の高い医療の提供に努めます。
2. 全職員が患者さんの窓口となり、真心と笑顔で患者さんに接します。
3. 患者さんの言葉を最後まで聴き、患者さんが理解できるよう分かりやすい言葉で説明します。



年頭のご挨拶



岐阜県厚生農業協同組合連合会
経営管理委員会会長

堀尾茂之



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本会事業につきまして格別なるご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

平成二十六年の年頭にあたり、皆様に一言ご挨拶申し上げます。我が国の医療を取り巻く環境は、急速な少子高齢化、医療技術の進歩、国民の医療に対する意識の変化等大きく変化する中で、国は、社会保障・税一体改革において二〇二五年に向けて、医療と介護との機能分化や円滑な連携、在宅医療の充実、新たながん治療の導入、健康の維持増進・疾病予防等、地域包括ケアシステムづくりに取り組むとしています。

また、岐阜県においては、第六期岐阜県保健医療計画が策定され、基準病床数の見直しとともに、五疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）五事業（救急医療・小児医療・周産期医療・



災害時医療・へき地医療）および在宅医療に係る数値目標、医療連携体制の構築、医療従事者の確保、医療の安全対策等が盛り込まれました。

本会は、国、県が示す制度改革や医療計画の方向性を見据えながら、公的医療機関として、また、地域の基幹病院として、予防医療から救急医療、急性期医療、さらには、慢性期医療、在宅医療、緩和ケアに至るまでの総合的な医療・保健事業を担い地域医療の充実に努めてまいりました。

こうしたなかで、昨年、中濃医療圏における基幹病院としての機能充実を図るため、中濃厚生病院増床整備工事に着手しました。今回の整備では、病床数を一二床増床し、救命救急センター、化学治療室の拡充、専門性の高い呼吸器・消化器病センターの開設を始め、健康管理センター、保育所、災害時の備蓄倉庫の再整備を行い、平成二十七年三月に増築部分の整備工事の完了を予定しています。

また、今後は他病院についても耐震整備や高額医療機器等の施設整備を積極的に行ってまいります。今後、医師不足等医療を取り巻く経営環境は厳しいものがありますが、組合員並びに地域住民に信頼していただけますよう、地域医療機関との連携をさらに強化し、より安全安心な医療体制を目指して行く所存であります。

最後になりましたが、本年が皆様方にとりまして幸多き年となりますよう心より祈念申し上げますとともに、引き続き、本会事業にご理解ご協力を賜りますようお願いを申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



院長 野坂博行

新年明けましておめでとうございます

平成二十四年十二月総選挙に於いて自民党が大勝し、三年ぶりに政権が民主党から自民党に移り安倍内閣が誕生して、皆がアベノミクス効果で景気が良くなると思っていました。東日本大震災の後遺症があまりにも大きく日本の経済は低迷し続けており、外交面でも近くの中国や韓国との関係もぎくしゃくしています。そして平成二十五年十二月には、得体のしれない特定秘密保護法案が与党の強行採決により成立しました。明るい話題といえば二〇二〇年（平成三十二年）に東京オリンピックの開催が決定した事と二〇二七年（平成三十九年）東京・名古屋間のリニア新幹線が開通しこの東濃地方を通過する事です。

病院を取り巻く医療環境も次第に厳しくなっています。地方の医師不足・国の財政赤字・TPP交渉の行方・原発問題・平成二十六年四月からの消費税八%への増税・急性期病床過剰時代など、マイ

ナスの方向性がかりが目白押しです。また今年四月の診療報酬改定により、大きな影響を受けることは間違いありません。人口三十五万人の岐阜県東濃地方は、少子高齢化の波を受け確実に人口減少が進んでおり、瑞浪市の人口も四万人を切りました。三十年後には三万五千人となると予想されています。過疎化するなか、今後東濃厚生病院がどのような診療体制をとらなければならないのか模索する必要があります。

地域住民の健康を守るためには、まず救急医療の受け入れに力を入れていきたいと考えています。職員一同の協力・連携とさらなるレベルアップが必要なことは言うまでもありません。そのような中、平成二十一年度より当病院に初期臨床研修医が六名、後期臨床研修医が三名加わったことは特筆すべき明るい話題でした。

行政の瑞浪市からは、毎年の施設整備の財政支援・東濃地域医師確保奨学資金貸付制度に加えて、平成二十五年度は特別交付金が当院の救急医療に対して支出されることになりました。そして平成二十五年十二月六日瑞浪市と災害時の医療救護に関する協定書を取り交わしました。これにより大災害時には瑞浪市にライフラインの確保をお願いすることにより、当院としては災害救護活動に専念できることになりました。

今年も皆様に「親生まれ、愛され、そして信頼される病院」を目指し、急性期医療機関として質の高い医療を提供していきたいと考えています。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

はじめまして 地域医療総合連携室です!

今まで当院では、地域医療連携室と医療福祉相談室は別々に機能しておりましたが、平成二十五年十月一日付にて同一部署として運営することとなり、名称を「**地域医療総合連携室**」として再編いたしました。

医療連携業務を推し進めるに際し、分散していた地域医療連携室と医療福祉相談室の個別に行っていた業務等を集約化し、室長の大池医師をはじめ多職種が一体となり、各種の連携に係る業務を拡大するとともに、地域への貢献を目的とした組織づくりを目指します。

医療連携業務では、診察・検査日程の調整をスムーズに行い、今後も地域における医療連携の円滑な運営を行っています。

医療福祉相談業務では、「病気や障がいを持ちながら、どこでどのような療養をしていくのか」という患者様とご家族様の意思決定に関わり、想いに寄り添う援助を行っていきます。また、医療的及び福祉的な支援が必要である高齢者や障がい者のために、地域の医療と福祉を結び付ける業務に携わり、地域医療・福祉関係の方々また行政と密な連携が図れるよう努めてまいります。

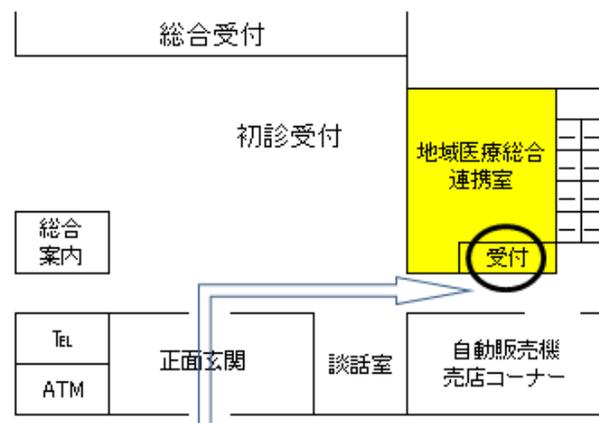
この地域のための社会資源の一つとして、当院の地域医療総合連携室が存在しているように、今まで以上に連携の取れる体制を築いていきたいと考えております。




地域医療総合連携室


平日 8:30~19:00
 土曜日 9:30~12:00

医療相談受付
 平日 8:30~17:15



十二月二十三日(土)、「瑞浪市健康まつり」に参加しました。

瑞浪市健康まつりは、毎年健康に関してPRするイベントとして今回で三十九回を向かえました。当院も毎年参加しておりましたが、今年は骨密度測定、肺年齢測定、血管年齢測定などの測定コーナーや医師・看護師・薬剤師・理学療法士・栄養士による相談コーナーの他、乳がんの触診体験では模型を使い理解してもらうなど例年より多くのブースを設け参加しました。さらに腰痛体操・肩こり体操など皆様に大変よろこんでいただき多くの方で賑わいました。これからも地域と密着した行事として、健康まつりを盛りたてていきたいと思えます。



寒い夜

ヒートショックにご注意!!

ヒートショックとは、暖かい場所から寒い場所へ移動するとき体を受ける急激な温度変化をいいます。それによって血圧が急変動したり、脈拍が早くなったりし、特にお年寄りの方のお体にとって、とても危険なことです。

入浴時

暖かい室内 (血圧安定)



寒い脱衣室 (血管が縮んで血圧上昇)

浴室も寒い (血圧が更に上昇)



熱めの浴槽内 (血管が広がり血圧低下)

この急激な血圧変動により脳出血や脳梗塞・心臓麻痺(溺死や病死)を起こす可能性もあります。



なんと入浴中にお亡くなりになられる方は、交通事故でお亡くなりになられる方よりも多く、年間一万人を超えるといわれています。

「ヒートショック」が一番多く発生する浴室対策。居室と浴室の温度差を少なくすることがポイントです。

●ポイント1：シャワー給湯

風呂に入る前にしばらく浴槽のフタを開けておいたり、マットやスノコを敷くなどの対策も有効です。手っ取り早く浴室を暖める方法としては「シャワー給湯」がおすすめです。浴槽に湯を入れる時、シャワーを使って給湯する方法です。シャワーで給湯すれば、効率よく浴室温度を上昇させることが出来ます。シャワー給湯により浴室温度は十五分間で約十度上昇させることができるそうです。(東京ガス調べ)

●ポイント2：お湯の温度は低めに設定する

浴室での事故は、入浴温度四十一度を境にして死亡者数の増加がみられるそうです。浴槽に湯を張る際は、四十一度以下にする事を心がけた方が良さそうです。

●ポイント3：高齢者や血圧の高い人は一番風呂を避ける

「年寄りにさら湯はいけない」聞きますね。そのとおり！家族が入浴した後の二番湯に入れば、浴室が暖まっていますから、ヒートショックも起こりにくくなります。これは立派な生活の知恵ですね。

●ポイント4：湯のつかり方

「かけ湯」や「半身浴」を組み合わせるなど入浴方法を工夫しましょう。これは心臓や肺の水圧の負担から守るので、高血圧の人、高齢者、心臓や肺機能の弱い人には最適な入浴方法といえます。

●ポイント5：あったら便利

脱衣所、浴室の暖房や浴室インターホン



絵画寄贈：安藤 洋子 様
「樹」

眼科横の待合に飾らせて頂きました。

JA岐阜厚生連 東濃厚生病院

外来診療表

平成26年1月1日

科名	月	火	水	木	金	備考	
内科	第1・3・5週 初診	伊藤和則 (腎臓)	宮本陽一 (総合)	野村翔子 (総合)	西尾克彦 (リウマチ)	荒川直之 (消化器)	<ul style="list-style-type: none"> 血液内科 第2木 午後 内分泌科 第1月 午後 CAPD外来 毎週月 午後 フットケア外来 第2週、第4週金 9:00~16:00 (予約制) 睡眠時無呼吸外来 毎週木 13:00~15:00 (予約制)
	第2・4週	柴田尚宏 (呼吸器)	吉田正樹 (消化器)	浅野慎介 (腎臓)	長屋寿彦 (消化器)	澤崎貴子 (腎臓)	
	1診	野村翔子 (総合)				代務医	
	3診	野坂博行 (呼吸器)	安藤 操 (内分泌)	吉田正樹 (消化器)	野坂博行 (呼吸器)	山瀬裕彦 (消化器)	
	4診	吉田正樹 (消化器)	加藤敏夫 (循環器)	澤崎貴子 (腎臓)	加藤敏夫 (循環器)	安藤 操 (内分泌)	
	5診	長屋寿彦 (消化器)	浅野慎介 (腎臓)	荒川直之 (消化器)	澤崎貴子(隔週) 比企能之(隔週)	浅野慎介 (腎臓)	
	6診	西尾克彦 (リウマチ)	代務医	藤本正夫 (消化器)	藤本正夫 (消化器)	藤本正夫 (1・3・5のみ)	
	7診	岩島康仁 (呼吸器)	柴田尚宏 (呼吸器)	伊藤和則 (午後)	柴田尚宏 (呼吸器)	宮本陽一 (総合)	
	8診	荒川直之(1・3・5) 伊藤和則(2・4)	長屋寿彦 (消化器)	宮本陽一(1・3・5) 野村翔子(2・4)	代務医	西尾克彦 (1・3・5のみ)10:30	
	内分泌科(第1午後)		山口 満 (午後)	血液内科(第2午後)			
神経内科	加藤秀司	加藤秀司	加藤秀司	加藤秀司	加藤秀司		
小児科	代務医	代務医	佐々木明	佐々木明	佐々木明		
外科	1診	野村公志	安藤修久	大池恵広	今澤正彦	安藤修久	<ul style="list-style-type: none"> ストーマ外来 第1木・第3金・第4水 9:00~12:00 (予約制) ヘルニア外来 毎週木 8:30~11:30
	2診	今澤正彦	代務医	大谷 聡	野村公志	大谷 聡	
脳神経外科			梶田泰一				
皮膚科	1診	稲垣克彦	稲垣克彦	稲垣克彦	代務医	代務医	<ul style="list-style-type: none"> 午後診察 毎週火・木 14:30~16:30
	2診				稲垣克彦		
整形外科	1診	平石 孝	佐藤 央	前川誠治	大間知孝顕	前川誠治	
	2診	前川誠治	水島秀幸 (手の外科9:30~)	大間知孝顕	佐藤 央	平石 孝	
産婦人科	石渡寿勝	石渡寿勝	石渡寿勝	石渡寿勝	石渡寿勝		
眼科	1診	代務医 (9:00~15:00)			金田正博 (9:00~)	代務医 (9:00~15:00)	
	2診				代務医 (9:00~15:00)		
耳鼻咽喉科	1診	水谷俊太郎	水谷俊太郎	水谷俊太郎	水谷俊太郎	水谷俊太郎	<ul style="list-style-type: none"> 補聴器外来 毎週月・火 第2・3・4・5水 15:00~ (予約制) 嚥下外来 毎週木曜日 14:30~15:30 (予約制)
	2診	代務医	代務医		代務医	代務医	
泌尿器科	小出卓也	小出卓也	小出卓也	小出卓也	代務医(隔週) 小出卓也(隔週)		
人間ドック診察	第1.35	山瀬裕彦	西尾克彦	山瀬裕彦	山瀬裕彦	西尾克彦	
	第2.4				宮本陽一(2) 野村翔子(4)	加藤敏夫	

看護職員さん募集

東濃厚生病院では、広く看護職員を募集しています。現場から長期に離れた方でも大歓迎です。ご自分の能力を患者さんのために役立ててみませんか。お待ちしております。

資格 保健師・看護師 年齢 不問

連絡先 東濃厚生病院 総務課及び看護部長室 TEL 0572-68-4111



受付時間
8:30~11:30
休診日
土曜・日曜・祝日
面会時間
13:00~20:00

東濃厚生病院
〒509-6101 瑞浪市土岐町76番地1
TEL 0572-68-4111
FAX 0572-68-8934

健康管理センター(人間ドック)
TEL 0572-68-4426
FAX 0572-68-9458
訪問看護ステーション あゆみ
TEL 0572-68-8625
FAX 0572-68-8625